

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

群馬県

行事名称	二宮赤城神社火災防御演習
実施期間・日時	令和2年1月26日(日) 午前10:00~11:00
実施場所	二宮赤城神社(前橋市二之宮町886番地)
主催者	前橋市消防局(南消防署、城南分署、中央消防署) 前橋市消防団(第4方面団、第11分団1部、第12分団3部、第13分団3部、第14分団1部・4部、第15分団1部・2部) 前橋市教育委員会事務局文化財保護課 二宮赤城神社

■実施内容

訓練の想定

1月26日午前9時55分頃、二宮赤城神社北側林野から出火、参拝客が火災を発見し、119番通報するとともに社務所にいた宮司に連絡、参拝客と宮司が懸命な初期消火活動を行うが本殿及び拝殿へ延焼中の模様。またこの火災により宮司と参拝客が文化財の絵馬を搬出しようとして逃げ遅れたもの。

訓練の内容

参拝客、宮司による初期消火(消火器)。119番通報による特命建物火災による消防の出動、要救助者の救出・救護、一斉放水の実施。

参加者及び役割分担

二宮赤城神社(1名): 初期消火、重要物品の搬出
地域住民(20名): 119番通報、現場立合い
前橋市消防団(51名): 避難誘導、交通整理、放水訓練
前橋市消防局(43名): 全体総括、放水訓練、広報、通信対応
前橋市教育委員会事務局文化財保護課(2名): 現場立合い

特に工夫した点

逃げ遅れた要救助者がいることも想定して、正確かつ迅速な救出・救護活動、消火演習を実施した。

問題点・課題

建物のみならず、建物内に重要文化財が所蔵されているケースも多く、日頃の想定が重要であると再確認した。

その他

毎年文化財防火デーに合わせて消防訓練をおこなうことで、地元消防団、地域住民と一緒に演習を行い文化財愛護意識の高揚を図る。防災の必要性を再確認して、今後も実施していくことが重要である。

訓練風景

